

会 議 録 (概要)

会議の名称	第4回 (仮称) 佐渡文化振興財団設立準備会
開催日時	平成29年12月14日(木) 13:30~14:45
場 所	金井コミュニティーセンター 2階 大会議室
議 題	(1) 財団の設立理念(目的)について (2) 次回の協議テーマとスケジュール
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	有識者 8名 事務局(理事者) 市長:三浦 基裕 副市長:藤木 則夫 教育長:渡邊 尚人 (企画課) 課長:岩崎 洋昭 主任:源氏 諭史 (佐渡学センター) 所長:高藤 一郎平 次長:岡部 欽也 主任:鶴間 基宏 主任:石渕 裕作
会議資料	1. 事業案に係る意見集約一覧(再提示) 2. 財団設立理念・目的 3. 第1回~第3回公開用会議録の確認のお願い 4. 第1回~第3回公開用会議録 5. (会員提案資料) 財団運営方針案 6. (会員提案資料) 理念設定局面の進め方
傍聴人の数	0人
会議録作成者	社会教育課佐渡学センター文化振興係 主任 石渕裕作

会議の概要（発言の要旨）	
議題・発言・結果等	
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ○「伝統」という言葉は財団名に入れない。 ○会員から22日までに目的、理念についての意見を出してもらい、集約した案、設立要件及び設立までの最終的なタイムスケジュールを第5回準備会前に配布する。 ○第5回準備会の日程は平成30年1月12日 13:30～目的について、準備会の序盤で決めて、確定させる。 ○第6回準備会の日程は平成30年1月22日 13:30～
会議概要	<ul style="list-style-type: none"> ○財団の設立理念（目的）の事務局案を示し、会員から意見をいただいた。 ○公開用の第1回から第3回会議録の確認の依頼をした。 ○第5回準備会の日程とテーマおよび第6回準備会の日程の確認。
発言要旨	<p>(1) 設立理念（目的）について</p> <p>岡部次長 別紙が事務局で考えた目的案になります。財団の定款に記載されるものとなりますので、協議をお願いします。</p> <p>A氏 事務局から提案がありました。 設立目的を皆様から協議していただくわけですが、その前に仮称の名称について、第1回の準備会の際に「伝統文化振興財団」となりました。仮称であっても「伝統」の文言が入ることに疑念があります。佐渡の文化振興を図ることであれば、必ずしも伝統文化に拘る必要はないかと思えます。文言だけの問題ではなく、佐渡文化の未来をどう描いていくかという話にもなっていくかと思えますので、その部分も含めて皆様のご意見をいただければと思います。</p> <p>B氏 理念そのものに関わってくるので、先に仮称名称についてはクリアしておかないといけない問題だと思います。 文化というものは多様なものでもあります。多様なものであるからこそ人間生活を豊かにできる。伝統文化だけが文化ではないと思います。伝統文化に限定してしまうと、文化振興や新しい文化の創造を阻害してしまうのではないかと懸念しています。 ですので、構えは大きく構えていったほうがいいかなと思います。</p>

会議の概要（発言の要旨）

議題・発言・結果等

発言要旨	C氏	<p>参考までに。佐渡の芸能に限って言えば、伝統文化ではないと個人的に思っています。なぜならば、芸能は多種多様で、伝来時のそのままの形態にとどまらず時代の流れに合わせて変容していくものであるからです。</p> <p>もう一つ。ある方に「文化」を一言で言うと何かと問い掛けたとき、「生活様式」だという答えが返ってきました。ですので、事務局の目的案に「文化的」という言葉がありますが、「文化的」という言葉はおかしいと思います。</p>
	D氏	<p>そもそも何のために、何でこのタイミングで財団を作らなければいけないのかというところだと思います。</p> <p>第1回の準備会の際に事務局から説明のあった設立主旨のなかで、今、佐渡にある文化を継承していくために財団を立ち上げるというスタンスだったと思います。ですので、乱暴な言い方をすると、目的も想定事業も事務局案でいいと思います。大事なのは、目的と事業の間に方針を入れていくことだと思います。</p> <p>目的があり、どういう方向で進んで行けばいいのかという方向性を示すことによって、その延長線上に事業があつて、それにより目的が達成される。乱暴な言い方ではありますが、先ほど他の会員から時間軸の話がありましたが、例えばその方針のなかで目的も方針も時代に合わせて定期的に見直しますとすれば、まずもっている現状を何とかするための財団の目的ということで、事務局案でもいいのかなと思います。</p>
	E氏	<p>今回、目的案が出されましたが、今後準備会で決めていく内容のスケジュールはどう考えていますか。というのがひとつ。</p> <p>もうひとつ。私としては、今日は目的を決めるのではなく、その目的をどう決めていくのかという決め方を決める場であってほしいなと思います。たとえば、理念、現状、未来は、このままだとどうなっていくのかというふうなワークショップで決めていく合意形成のやり方もあります。</p> <p>事務局としては、どういうふうな形で目的を決めていくのかもお聞かせください。</p>

会議の概要（発言の要旨）		
議題・発言・結果等		
発言要旨	岡部次長	<p>タイムスケジュールについては、1回目の際に来年7月2日の設立登記を目指して、それまでに6回の準備会を開催する計画で提案していますが、今のままいきますと6回では終わらないかと思えます。今、この場で詳細な計画はお示しできませんが、新年度に2、3回追加で準備会を開催することになるかと思えます。流れについては予算・組織・定款・規則・評議員選出について、準備会で議論していただければと思っていますが、今後のスケジュールおよび協議いただく内容を事務局サイドで打合せをした訳ではないので、おそらく新年度に準備会がずれ込むであろうという共通認識を持っていたいただければと思えます。</p>
	F氏	<p>仮称名称についてですが、広範囲にわたって今後の佐渡文化を振興していくというのであれば、わざわざ「伝統」をつけなくてもいいのかなと思えます。</p> <p>目的案についてですが、今後財団が目指していく姿が見え辛いというのが1点。もう1点。誰が主体なのかがよくわからない。個人的には佐渡島民自身が、佐渡の文化をより発展させていくための当事者意識を持ってほしいので、目的には佐渡島民が自ら積極的に参画することを促す法人であるという矜持を盛り込んでほしい。「知る」とか「学ぶ」とか「参画」するとか。主語をこの法人が何々をするんだと言い切るだけではなく、佐渡島民がもっともっと当事者意識を持って、絶滅危惧種になりつつある佐渡の伝統文化や文化についてもっと知ってほしいし参画してほしいという思いが見える目的であってほしい。</p>
	D氏	<p>補足ですがさきほどお話した方針に関して、粗粗ではありますが案を作ってきたのでお配りします。</p> <p>（※資料を配布）</p> <p>理念（目的）の上に立って、どちらのほうに進むのかという方向性、方針があると事業も意味を持ってくるのかなと思えます。</p> <p>③（文化活動支援を継続するために事業の収益化を目指す）がポイントで、財団を作って一番怖いのは、予算の問題です。例えば、もし市長が変わると当然予算配分も変わるかと思えます。そうすると立派な理念と事業計画を作っても、</p>

会議の概要（発言の要旨）		
議題・発言・結果等		
発言要旨		<p>継続的な佐渡文化の継承が難しくなると思います。文化事業支援を継続するためには、収益化できる事業は必要不可欠だと思います。</p> <p>それと、④。文化のあり方や文化に対する考え方も時代を映して変容していくわけですから、定期的に理念（目的）や方針自体を見直すことも必要かと思います。</p>
	B氏	<p>目的案についてですが、事務局案に「伝統文化の保存継承およびその活用等を基本としつつ云々…」。「基本としつつ」位の言い回しにしておいて懐を広く大きく構えていたほうが、役所としても取り組みやすいのではないかと。</p>
	三浦市長	<p>目的については、準備会のなかで皆さんの基本的な考え方が一致したなかで意見を集約していただければと思っています。ただ、文化の捉え方については、事務局の案として、「佐渡ならではの文化」という捉え方をしたいと考えています。そういった基本的な考え方があったため、わかりやすく「伝統」という言葉を最初のとぎにつけました。</p>
	B氏	<p>「伝統文化」と言ったとき、具体的にどういった文化を指すのかという話になるかと思います。例えば、佐渡おけさなのか、鬼太鼓なのか、春駒なのか。つまり、何を念頭に考えているのか。</p> <p>それから、「伝統文化」の始まりはそもそも創造である。それが長年伝承されてきて伝統となるのである。文化とは全て創造から始まることを忘れてはいけないと考える。</p>
	三浦市長	<p>おっしゃることはよく分かります。ただ、一般的に見てイメージし易いかなという発想から「伝統」という言葉をつけただけの話であります。「伝統」をつけていなければならいということではありません。ですので、文言については修正していただいて構いません。</p> <p>ただ、先ほどの方針に関するお話のなかで出た「文化活動支援を継続するために事業の収益化」については、こだわりたいです。これがなければ財団が長続きしないと考えます。</p>

会議の概要（発言の要旨）

議題・発言・結果等

発言要旨	A氏	<p>少し今の議題からは逸れますが、確かに財源基盤を自ら確立し、独立をしてもらうことが理想的だと思います。そのためにも他とは違う特色のある財団にしなければならない。</p>
	F氏	<p>収益化の部分の話をすれば、鬼太鼓の話を例にすると、ある程度の自主財源を確保している団体もあります。しかしながら、道具の買い替えなど急に多くの財源を必要とする場合があります。今後、観光の交流人口を拡大し、鬼太鼓をもっともっと興業化する必要もあるかとは思いますが、そういったときに支援できると喜ばれるのかなと思います。</p>
	C氏	<p>今の話に関連して参考までに、現状、島内には鬼太鼓の団体は127ある。だが、あと10年後にいくつ減るか分からないくらいに年齢構成の団体は多くある。また、自主財源を確保できない団体も全体の1/5程度ある。 鬼太鼓を始めとした地域に残る芸能活動はその地域のバロメータである。その芸能活動が終るということはその地域の色々な活動に影を落とすことになる。それらの現状を踏まえ、この財団に期待することは、継承のための道標となってほしい。</p>
	G氏	<p>私も文化活動支援を継続するために事業の収益化については、大事なことだと思います。 佐渡に30あった窯元も現在は15まで減っている。また、続けている方の高齢化も進んでいる。それでも、未来に繋げていきたいということで、助け合っているいろいろと頑張っていますが、ある程度の予算がないと、そういった活動を継続し継承に繋げていくための手助けができないと考えます。</p>
	E氏	<p>目的等、私も含め会員の皆様それぞれの財団に対する思いはあるかと思いますが、この場で個々の意見を集約することは難しいと思います。そこで、先ほどお話しさせていただいた目的をどう決めていくのかという決め方についての資料を作成してきました。</p>

会議の概要（発言の要旨）

議題・発言・結果等

発言要旨		
	三浦市長	<p>(資料配布)</p> <p>この方法がいいかどうかは別として、お配りしたワークシートはひとつの手法として、現状を踏まえ佐渡の伝統文化の未来をどう見据えていくのか等、個人の思いや考え方を出し合ってグリーピングし、目的に反映させていく方法になります。こういったことができたなら良いなと思い、提案しました。</p> <p>目的についてはそれぞれの思いがあると思いますので、それらを集約する段階をもう1回踏めればとは思っています。</p> <p>目的について次回集まる前に事前に意見を出していただき、集約した文案を事務局で作成し出しますので、次の準備会の序盤で決めていただき、確定させたいです。</p> <p>目的を決めるにあたって「伝統」という言葉が引っ掛かっているようですので、「伝統」という言葉は財団名に入れません。</p> <p>この準備会のなかで、最低限定款のモデル的なものまでは作りたいです。定款を作っただけであれば、そのあとの予算組や運用、立ち上げ時の組織と要員配置等々の組み立てはこちらに任せていただくという形でやるしかないと思います。そのようなスケジュール感でやらせていただければと思っています。</p>
	A氏	<p>(2) その他</p> <p>設立要件および今後この準備会のなかで決めないといけない事項のアウトラインについて、次回開催前に出してほしい。</p> <p>このあと何をいつまでに議論しないといけないのか見えていない。</p>
	岡部次長	<p>当初示したスケジュールだと業務・予算・組織が決まってから定款・規則となっていますが、今回は皆さんの意見を集約のうえ目的文を作成し、定款まで含めて議論することによってよろしいでしょうか。</p>
	三浦市長	<p>もう1度、それらを踏まえて設立までの最終的なタイムスケジュールの作成が必要である。</p>

会議の概要（発言の要旨）

議題・発言・結果等

発言要旨	E氏	目的や理念に関する意見はいつまでに出せばよいか。
	岡部次長	22日までにお願いしたいです。 それを受け、目的案を再作成し、設立要件やスケジュールと合わせて事前にお配りします。